

ライオングループの歴史

石けんとハミガキから始まったライオンの事業は、創業以来人々の健康な毎日を目指して、商品の提供とともに、生活者への啓発活動や情報提供を推進し、よき習慣づくりを提案してきました。また、古くから地球環境の汚染が世界共通の問題であることを認識し、環境に優しい商品の開発など、環境対応に取り組んできました。時代とともに変化する社会課題に対応すべく、古くからサステナビリティへの取り組みを進めています。

口腔保健

1896年～
口腔保健の普及/
社会貢献活動の原点



獅子印ライオン歯磨



袋の裏の慈善券
(社会貢献活動の原点)

1913年～
子どものための歯みがき習慣の
啓発活動を開始



商品の付録のしおり・絵本
(子どもへの口腔保健活動の原点)



ライオン児童歯科院

1960年代～
市場を拡大し、
世界に通用する製品を開発



小田原工場竣工
(生産体制の増強)



ホワイト&ホワイト
(使いやすい容器、ラミネートチューブの開発)

多様化する口腔の健康問題に、
より科学的な研究で対応



クリニカライオン
(むし歯予防)



デンターライオン
(歯槽膿漏予防)



デンターシステムシリーズ
(歯周病予防)

現在
口腔保健から全身健康へ
「オーラルヘルスケア」の推進



クリニカ
アドバンテージシリーズ
(「予防歯科」の推進)



アジア地域での
オーラルヘルスケア普及活動

清潔・快適

1891年～1940年代
洗剤で「洗う」ということの普及啓発



標準家庭洗濯法
(洗濯方法の啓発)



ライボン
(日本初の家庭用鉱油系合成洗剤)

1950年代
野菜を洗うための洗剤で
寄生虫による健康被害への対応



ライボンF
(日本食品衛生協会推奨第一号製品)

1960年代～
人々の多様な
生活ニーズへの対応



ママレモン
(「手に優しい」食器・野菜用洗剤)

現在
アジアの
清潔・快適な暮らしに貢献



海外NANOX



海外ケイケイ

環境対応

1920年代～
植物性原料の使用



植物性ライオンせんたく石鹸
(日本初の家庭用植物性原料の石けん)

1960年代～1980年代
水環境問題への対応
湖沼の富栄養化や洗剤の使用と関係のある
河川の発泡に対応



ダッシュ



無りんトップ

1990年代～
植物原料の商品を拡大



エモロン
植物物語



スパーク

現在
商品・コミュニケーションを通じた環境対応



「暮らし、まいにち、エコ。」
マーク
(当社のエコ商品に
付与するマーク)



環境配慮型商品の開発



環境目標の推進